

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 011	提案機関名 畜産課
要望問題名 豚舎汚水からのリンの除去回収技術の実用化に向けた研究の継続	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ・豚舎汚水からリンを除去・回収する方法については、すでに塩ビ管で作成した簡易型MAP反応槽によるMAPの回収効率や肥料としての有用性が報告されている。 ・しかしながら試験成績の中で示されたイニシャルコスト及び回収MAP1kgあたりの運転コストを見た場合、畜産農家がこの技術を導入し商業ベースで流通させるにはまだ時間を要すると思われる。 ・そこで、回収効率のさらなる向上とコスト削減を図るための新たな技術の導入も模索しつつ、実用化に向け研究の継続をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター畜産技術所	担当部所	企画経営担当
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 豚舎汚水からの資源回収技術の開発 (H22～25)			
対応の内容等 豚舎汚水からのリン資源回収については、当所では平成18年度から豚舎汚水処理における環境負荷物質の排出低減技術の開発において実施し、簡易な装置でリンを回収する技術を報告しました。 一方、ご要望で指摘されたとおり、本技術の実用化においてリン回収効率の向上と回収コストの削減が課題となっています。当所ではこの課題解決に向けて、平成22年度より豚舎汚水からの資源回収技術の開発に取り組んでいます。今後も豚舎汚水からのリン回収技術の早期の実用化に向けて努力してまいります。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			